



■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「正しい行動」を学ぼう	
ねらい (学習目標)	1 実践訓練での自分の対応を振り返る。 2 緊急地震速報を聞いた場合の適切な行動を確認する。 3 地震時に身を守ることの必要性を学び、家族と話し合う大切さを知る。	
対象学年	小学部（「指導上の留意点」の表現を変更することで中学部にも応用可）	
教科・イベント等	事前学習（総合的な学習・特別活動）	
学習形態	ADL 室・クラス学習	計 45 分
準備	ADL 室、アンケート（「地震アンケート」）、訓練用音源（※緊急地震速報チャイム音入手方法を参照）など	

■学習の流れ

構成・学習活動の内容	指導上の留意点（主な発問と子どもへの援助）
導入（5分）	
1. 今日の学習のねらい 1-1. 地震による「物の動き方」と、身を守る姿勢（ダンゴムシのポーズ等）を確認する。 <div>学習のポイント1「地震が起こったとき、その場所に合った想定される危険を理解する。」</div> <div>学習のポイント2「ものが「落ちる」「倒れる」「移動する」場所が危険であることを確認する。」</div>	<p>「今日は今まで使ったことのない場所に来ました。ここは寄宿舎の ADL 室といいます。主に高等部や中学部の生徒が、社会人になる準備として、この部屋を使って生活訓練をする場所です。この部屋には、皆さんの自宅と同じように、居間やキッチン、トイレやお風呂もあります。教室とは違うこの場所で、緊急地震速報を聞いたときに、どのように行動すればよいか学習します。」</p> <p>※どのような場所なのかをイメージさせる。</p> <p>「みなさんは、緊急地震速報を聞いたときに、自分で考えて身を守るための学習や訓練をしてきました。地震は、学校にいる時だけでなく、自宅にいたり、遊びに行ったところでも起きることがあります。自分の身を守るためには、どこにいても地震が起きた時に起こる危険を知って行動することが大切です。3つの危険は何だったのでしょうか。」</p> <p>※何人かに発表させる。 ※地震の際の危険なことを確認する。</p> <p>「教室以外の場所においても、物が落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所を探して、身を守ることが大切です。一人でいても、このことを思い出して行動できるようにしましょう。」</p>
展開 1235 分）	
2. ADL 室の学習 1 2-1. 地震による物の動き方を確認する <div>学習のポイント1「教室以外の場所にも危険があることを理解する。」</div>	<p>「皆さんがいる ADL 室では、地震で起きる危険が潜んでいます。まず、先生と部屋を周りながら、地震によって起こる危険を探してみましょう」</p> <p>※児童と一緒に触察。 ※教室以外の場所で、物を触りながら危険を確認する。</p> <p>「ADL 室には、地震によって起こる危険がたくさんあったと思います。では、それぞれの部屋で見つけた危険を教えてください。初めに、今いる場所には、どんな危険があると思いますか。」</p> <p>※部屋に移動しながら、一人ずつ発表させる。 ※キッチン、トイレ、お風呂など回った場所の危険を答えさせる。</p>



	<p>「この部屋はキッチンです。食器棚が危険だという意見が出ました。なぜ危険なのか理由を説明してください。」</p> <p>※発言した児童に理由を答えさせる。 ※他の意見があるか他の児童に問いかける。 ※各部屋で、危険を探してその理由を理解させる。</p> <p>「ADL 室にはたくさんの危険があることがわかりました。これは、皆さんの自宅でも同じです。家の人と、自分の家の危険を確認しておくことも自分の命を守るため大切なことです。」</p> <p>※耐震固定等の事前の備えによって安全確保できることを理解する。 ※自宅で家族と確認するように促す ※保護者へ依頼すると効果的</p>
展開 2（35 分）	
<p>3. ADL 室の学習 2</p> <p>3-1. 慣れていない場所での身の守り方を知る。</p> <p>学習のポイント1「正しい身の守り方が身に付いているかを確認する。」</p>	<p>「今まで教室や体育館、玄関、食堂などいろいろな場所で緊急地震速報が鳴った時の訓練をしてきましたね。その場で、どのように自分の身を守りましたか。」</p> <p>※一人ずつ発表させる。</p> <p>「訓練ではできても、みなさんは本当の地震が起きたときに、自分の身を自分で守れるようになったという自信がありますか。」</p> <p>※一人ずつ発表させる。 ※教師から見て訓練で気になったことを伝える。 （例）教室以外の場所での緊急地震速報訓練での行動を振り返る。 ①児童の感想を聞く。 ②教師からの感想を伝える。など</p> <p><u>◎視覚障害（全盲）のある児童は、他者の行動を見ることができないため、丁寧に行動の仕方を身に付けさせる必要がある。</u></p>
<p>3-2. 緊急地震速報を聞いた時の対応の仕方を確認する</p> <p>学習のポイント1「安全な所を知るためにしておいた方がよいことを理解する。」</p> <p>学習のポイント2「身を守る姿勢についての確認・テーブルなど隠れる物がすぐそばにある場合と、なかったとき（あるかどうか分からないとき）の対応を理解する。」</p>	<p>「実際の地震で大きな揺れになったときには、慌ててしまう可能性が高いです。特に、初めての場所では、どこに何があるか分からないと困ると思います。今は、ダイニングキッチンにいますが、この場所で突然地震に襲われた時、一番安全な場所はどこでしょうか。危険な場所はどこでしょうか。」</p> <p>※一人ずつ発表させる。 ※設置されている家具や電化製品等を確認（触察）させると効果的</p> <p>○緊急地震速報を流す ※ショート訓練（抜き打ち）</p> <p>「ティロン〜ティロン（計4回）。緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。・・・地震の効果音」</p> <p>※児童はその場に応じた対応行動をとる。 ※訓練用音源を使用する。 ※児童の様子を観察する。</p> <p>「みなさん、今いるキッチンで身を守る姿勢がとれていましたね。何が危険だと思い、その行動をとりましたか。」</p> <p>※一人ずつ発表させる。食器棚から食器が飛び出る。など ※テーブルの下もぐった児童は、テーブルから体がはみ出していないか確認し、はみ出していたら危険を理解させる。</p>



	<p>「地震の際の身の守り方を確認しましょう。近くにテーブルがあれば、テーブルの下にもぐり、脚をつかんで頭が隠れるようにしてかがんで身を守りましょう。地震の時に考えてほしいことがあります。なるべく周囲の状況（すぐ近くに倒れてくる物はないか等）を確認（触察）してください。テーブルの他に隠れられる物があるかも確認しましょう。（かがんで両手で周辺を触察）周りに何もなかったときには、ダンゴムシのポーズをとって頭を守りましょう。」</p>
<p>まとめ（5分）</p>	
<p>4. 振り返り</p> <p>学習のポイント1「自分の命は自分で守るという意識をもつ。」</p>	<p>「この時間は、皆さんの家と同じような部屋にいたとき、緊急地震速報を聞いたり、地震の揺れが襲ってきたときに、どうすればよいのかを勉強しました。日頃訓練をしていますが、自分で自分の身を守ることについての復習です。地震の時には、まず頭を守ることが大事です。机があれば机の下にすぐ潜る、できるだけ物の落ちてこない場所でダンゴムシのポーズができるようにしましょう。ただし、机の下に潜るときは普段から角はどこにあるか等の確認も必要です。また、学校内をまわって危険な場所やその場での身の守り方も学習できました。自宅でも同じように確認しておきましょう。地震の際に大事なことです。自分の身は自分で守る意識を持って行動しましょう。」</p>

■評価ポイント

1	緊急地震速報の基礎的な仕組みを理解しているか
2	強い揺れや緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはならないかを理解しているか
3	自分の判断で危険を回避し、自分の判断で行動することが理解できたか

■特記事項

・ 中学部や高等部では、地震や緊急地震速報のしくみなどの「理科学習」につなげることができる
・ 中学部以上では、グループワークによって個々の意見を共有すると効果的
・ 効果測定を行う場合、指導前後に事前事後評価のためのアンケート「地震アンケート」を記入させ確認する

【緊急地震速報チャイム音入手方法】

- ・ 「緊急地震速報の受信時の報知音の音源提供について」緊急地震速報利用者協議会
http://www.eewrk.org/eewrk_hochi-on/eewrk_hochi-on.html
- ・ 「緊急地震速報の入手方法について」気象庁
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/nc/katsuyou/receive.html>